

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0390900116          |            |            |
| 法人名     | 特定非営利活動法人なごみ        |            |            |
| 事業所名    | グループホームぼらん千厩        |            |            |
| 所在地     | 岩手県一関市千厩町千厩字前田229番地 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成23年2月26日          | 評価結果市町村受理日 | 平成23年7月29日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www2.iwate-silver.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0390900116&amp;SCD=320">http://www2.iwate-silver.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0390900116&amp;SCD=320</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 評価機関名 | (財)岩手県長寿社会振興財団                 |
| 所在地   | 岩手県盛岡市本町通3丁目19-1 岩手県福祉総合相談センター |
| 訪問調査日 | 平成23年5月23日                     |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

宮城県内の法人が隣県に初めての施設として開所しはや一年が過ぎようとしていますが、当初から心がけている、ご利用者の気持ちに寄り添った、丁寧で温かい介護が少しずつ実現できていると思います。今後も岩手と宮城双方のノウハウや職員の思いをプラスの方向に融和させながら、当ホームを選んでくださったご利用者様・ご家族様へ上質の安心と安全を安定的に提供するとともに、地域に対し認知症に関する知識や最新情報等を広く継続的に発信して行きたいと考えています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

昨年3月に開所した当事業所は、町から少し離れた静かな自然の中に立地されており、ホーム内は広く明るい陽ざしが入りゆったりと穏やかに生活できる環境にある。職員は自分たちで作り上げた理念として「皆と一緒に 思いやりのある 笑顔あふれる普通の生活」の実践と利用者とのコミュニケーションを重視し、毎日の日常生活のケアに活かされるよう支援している。本部長・管理者は職員に資格を取得させる支援を積極的に実施し、質の高いサービスの向上に取り組んでいる。また東日本大震災の教訓により、夜間体制増員の要望の働きかけを行う予定である。職員はとても明るく、笑顔で、積極的な意欲が感じられた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |   |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいの<br>3. 利用者の1/3くらいの<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)             | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |                       |   |

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|--------------------|-----|---|---|---|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 職員全員の話し合いで作成した理念を、事務室内やネームプレートの裏面に明示し、業務の前に皆で唱和し共有することで常にご利用者一人ひとりが安心して生活できる環境作りに取り組んでいる。         | 昨年3月の開所時に、職員全員で作り上げた理念として、「皆と一緒に 思いやりのある 笑顔あふれる 普通の生活」を掲げ毎朝のミーティングや毎月の会議等で共有しながら、その実践に繋げる努力をしている。                       |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 行事には地域の方々にも参加していただき、交流を図っている。また、自治会に加入していることや婦人会の方々からも声掛けをいただき、行事に積極的に参加して地域に溶け込む努力をしている。         | 自治会に加入し、地域の情報が得られると共に、交流もでき、行事への参加や婦人会の方々には神棚作りや見学にも来ていただいている。警察署員も立ち寄って頂くなど、理解に努めている。ご近所は仕事をしている方が多い環境のなか、工夫と努力がうかがえる。 |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 2ヶ月に1回行われる一関市主催の千厩地域支援会議に出席し、情報提供している。また、職員3名がキャラバン・メイト養成研修を受講しており、地域に発信するよう努めている。                |   |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 運営推進会議で出た要望は職員に周知し、迅速な対応をしている。また、運営推進会議の際前回の運営推進会議議事録を出席者に配布している。                                 | 運営推進会議の委員に利用者、家族全員に通知している。会議では委員からの要望でグループホームの理解を得るために地域への説明の機会を作ってほしいとか、図鑑の購入、看板の設置、面会時記録の際の机等率直な意見交換の場として活用されている。     |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 担当部署へは電話だけでなく、たびたび足を運んでいる。また、一関地区広域行政組合の介護相談員が定期的に訪問しており、利用者様からお話を聞いたり、アドバイス等頂く等の連携が取れる関係作りをしている。 | グループホームの本部は気仙沼市にあり、今回の災害で4ヶ所の施設が流失したため、一関市内の受け入れ体制、施設整備に関する事等、実状を話し、理解を得られている。介護相談員が3ヶ月～4ヶ月に1度訪問している。                   |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 転倒の危険性がある方について記録や申し送りを充実させ情報を共有することで、拘束しないケアに努めている。今後研修報告をもとに身体拘束についての勉強会を開く機会を作っていくよう努めている。      | 安全対策のチェックポイントを立てながら、職員全員で共通意識を図り、見守りしながら安心、安全の中で過ごしている。研修会の報告を全職員に周知する取り組みは今後の課題である。                                    |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 日々高齢者虐待について職員一人ひとりが考えながら支援しているが、まだ具体的な研修への参加や勉強会は行っていない。  |   |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 姉妹施設で利用されている成年後見制度や「まもりーぶ」についての情報を収集し、ホーム利用者様が必要になった際は支援できるよう備えている。                                  |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時に時間をいただき、契約書と重要事項説明書の内容を丁寧に説明している。その中で、質問を受け付けており、より理解していただけるよう取り組んでいる。                           |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 日常の会話に耳を傾け要望は可能な限り取り入れるようにしている。また、その内容を記録やミーティングで管理者、職員が共有している。第三者委員を委嘱し、その制度を運営推進会議を通じてご家族様に周知している。 | 利用者の担当職員をきめて、何でも話せる場面づくりを工夫し、その都度、生活記録に記入したり連絡ノートで思いを受け止められるよう支援されている。ベットの高さの調節、手すりの設置等迅速な対応に心がけている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 毎月1回の全体ミーティングを行い、代表者も含め意見交換を行い、反映するよう努めている。また、管理者は常に身近な立場で、意見交換できる関係づくりに努めている。                       | 管理者を含めた職員会議で意見、提案が出されており、業務によるローテーションの見直し、ダイニングチェア(回転椅子から固定椅子)の改善につなげている。                            |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 年齢に関係なく能力のある職員を積極的に役職へ登用することで、意欲向上を図っている。また、職員たちの努力は常に正当評価すると共に併せて敬意や謝意を表している。                       |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 代表者は職員各人に目を配り、適性に合った研修の参加を促し、キャリアアップについての啓発を継続的に行っている。ミーティングでは研修報告を行い、職員の知識吸収の一助として役立っている。           |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 代表者は市・県内の研修への参加及び他施設との交流を積極的に促し、日頃からのホーム及び職員のネットワークづくりと、「顔の見える職員」であることの大切さを日常的に説いている。                |  |                   |

| 自己                           | 外部  | 項目   | 自己評価   |  | 外部評価              |  |
|------------------------------|-----|--|--|--|-------------------|--|
|                              |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |  |                   |  |
| 15                           |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居の相談時、管理者・計画作成担当者がご本人様とご家族様とお話しする機会を設け、可能な限り実現できるよう努めている。                                     |  |                   |  |
| 16                           |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族様がどのようなケアを望んでいるのか、何か不安なことはないか伺い、もしあった場合は十分に時間を掛けて説明・対応しており、良い関係作りに努めている。                    |  |                   |  |
| 17                           |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 満床時の相談では、急を要するのか確認を行い、地域包括支援センターや他事業所への紹介や説明を行うなどの情報提供に努めている。                                  |  |                   |  |
| 18                           |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 本人の意思を尊重し、残存機能を活かしながらい居者様と寄り添う姿勢を大切に支援を行っている。  |  |                   |  |
| 19                           |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時には状況報告を行い、通院時には電話で報告をしている。電話等でご家族様との関係を途切れないように努めている。ご利用者様のお誕生日にはご家族様の予定も考慮しながら参加の声掛けをしている。 |  |                   |  |
| 20                           | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 長年馴染みの理容店に行ったり、お知り合いの方にたびたび来訪していただくよう職員からも声がけすることで、今までの関係が続いていくよう支援している。                       | 馴染みの商店街、お花見の場所、理容院に出かけている。近くの公園の散歩や、利用者の畑に行ったり、友達の訪問もあり、個々の思いに添った支援に取り組んでいる。家族からも情報を得るよう努めている。 |                   |  |
| 21                           |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 毎日の生活の中で、馴染みの関係が構築されており、お互いを支えあう関係が自然とできている。職員は利用者同士が円滑にコミュニケーションを取れるよう支援に努めている。               |  |                   |  |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 他施設に転居しても、そちらで顔を合わせた際には近況を伺ったり、ご家族様への情報提供に努めている。                               |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人様との日々の関わりの中で、言葉や表情から希望等を汲み取り、一人ひとりの思いを尊重し実現できるように毎日のミーティングを通じて検討し実行している。    | 利用者の担当者を決めており、個別に本人が話したこと、会話の中で気づいた具体的な様子や、家族からの要望等を生活記録に記述し把握に努めている。困難な場合は毎日の会話、表情、そして家族に相談しながら笑顔で寄り添うよう支援している。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | ご本人様やご家族様からのお話を記録に残し、職員間で共有している。また、積極的に情報収集に努め、より良い生活を送っていただくよう支援に活かしている。      |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 職員は日々の生活の中で記録を共有し、申し送りを行っている。月1回の全体ミーティングを通じて情報を共有し、状態の把握に努めている。               |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 当事業所では、担当制を採り入れることでご利用者様の思いや希望等を良く聴き取り、また、ご家族様の思いや職員の気づきも介護計画に取り入れながら支援に努めている。 | 介護計画は管理者が生活記録から抜粋し、利用者の担当職員と確認しながら6ヶ月に1回作成している。家族には来所した際に利用者の状況報告を伝えている。遠方の家族には電話で報告し理解を得ている。状態の変化にも対応している。      |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別記録を詳細に記入することによって職員間で情報を共有し、ケアの実践に活かしている。                                     |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 日々の状態や状況に合わせて、医師や看護師、ご家族様に報告と相談を行いながら、最善のサービスを提供できるように努めている。                   |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 外部評価  |   |
|----|------|---|---|---|
|    |      |   | 自己評価<br>実践状況  | 実践状況<br>次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 自治会の皆さんや民生委員、ご近所等とのかわりを大切にし交流を図っている。ホームでの行事にも参加の呼びかけをしており、利用者様方と楽しく過ごしていただいている。                       |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | ご利用者様全員が希望のかかりつけ医に定期受診し指示を仰いでいる。家族の都合が悪い時は職員が付き添っている。毎日のバイタルチェック表の他、気になることを事前に上申書に記入し主治医に相談している。      | 利用者全員が、それぞれのかかりつけ医に受診しており、家族が都合悪いときは職員が付き添っている。眼科、皮膚科は家族対応している。歯科については訪問診療で全員受診し、健康管理に取り組んでいる。                          |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 日常の様子観察の中で異常があった際は、看護師への報告やかかりつけ医への連絡を行っており、迅速な対応を心掛けている。   |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | ご利用者様が入院された際は、情報の提供を可能な限りお見舞いに行き状況を把握している。また、ご家族様と医療機関の情報交換に努め、退院までに備えている。退院時はサマリーを頂いて退院後の支援の参考にしている。 |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | ご本人様とご家族様の意向をできるだけ早い時期に確認すると共に、かかりつけ医との連携を図ることを意識し、今後の支援考えることとしている。看取りの指針を策定し職員全体で方針の共有を図るよう努めている。    | 契約時に、本人・家族には医療行為が生じた場合には限度があること、日常生活が出来る範囲内までは対応し得る最大のケアについて説明している。実際、家族からの要望で入院したケースもある。看取り指針も策定し、職員間では意思統一を図り、共有している。 |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 地域で行なわれている救急講習に参加している。また、研修等の中でも行っており、職員全員が対応できるよう努めている。  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 通報訓練を行い避難口の確認や避難経路の整備を行なっている。運営推進会議には、消防署職員を招き避難訓練の報告をいただき、地域の方々にもお知らせしている。                           | 避難訓練、通報訓練、消防署員の参加を得ながら実施している。注意点は受けとめ、改善している。地域の方々にも訓練実施のお知らせをしているが、(日中)勤務している方が多く、参加していただくまでには至らなかった。                  |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価   |  | 外部評価              |  |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|--|
|                                  |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |                   |  |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | ご本人様の言葉に耳を傾け、言葉を否定しないよう心がけている。言葉遣いを丁寧にすることを心がけている。   | 一人ひとりに合わせた声かけをしながら、傾聴に心がけ、否定しないことを基本に取り組みがなされている。  |                   |  |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 利用者担当制にしており、コミュニケーションが密に取れるようにしている。遠慮がちな生活にならないように話しやすい雰囲気作りに努めている。                        |  |                   |  |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | ご本人様の希望を確認した上で当日のショートミーティングに予定を組み入れる等、希望に添った支援を支援に努めている。                                   |  |                   |  |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 服にこだわりがある方は特に入浴の際、着る服を自分で選んでいただくよう支援している。また、行きつけの理容所に通うのも楽しみの一つとなっている。                     |  |                   |  |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 食事の準備等できることを分担して一緒に行っている。食事の盛り付けや食後の茶わん拭きは日課になっている方々も多い。その他、食事前に口腔体操を行い、楽しく食事が摂れるよう支援している。 | 食事についての一連の作業は、利用者ができることを分担しながら、全員で行っている。外食や、イベント食等楽しみのひとつである。職員は利用者と一緒にテーブルで同じ食事をしながら支援に努めている。 |                   |  |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 食事量や嗜好チェックを行うことで摂取状況に応じた調理の提供をしている。毎月初めに体重測定を行い増減に注意している。                                  |  |                   |  |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 自立している方にはその都度声掛け行っており、支援の必要な方は、誘導し口腔ケアを行っている。日常の様子の中で口腔内の痛みの訴えがあった場合は、訪問歯科に繋げるよう支援している。    |  |                   |  |

| 自己 | 外部   | 項目  | 外部評価  |   |  |
|----|------|---|---|---|--|
|    |      |   | 自己評価<br>実践状況  | 実践状況<br>次のステップに向けて期待したい内容   |  |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 排泄チェック表の記入を確実にし、一人ひとりの排泄パターンを把握に努めている。排泄の声掛けは周りの視線を意識し、さりげなく行っている。                                | 個々の排泄記録表で把握し、声がけしながらトイレで用を足すよう、自身への回復へつなげるような工夫と努力がうかがえる。         |  |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 便秘の方に対しては、病院で処方されている下剤を考慮しながら、個々に起床後の冷水、牛乳の提供をしている。また、腹部マッサージや軽体操を取り入れて便秘の予防に努めている。               |   |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 毎日のバイタル測定値を確認し、ご本人に体調や気分を伺いながら支援している。また、好みの入浴時間の把握や入浴剤を選んでいただく等の入浴を楽しんでいただくための工夫に努めている。           | 毎日の入浴が、10時30分から可能であり、個々の好きな時間帯に入浴出来る。バイタルの確認と体調を見極めながら清潔保持に努めている。 |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 日常の様子観察を行い、夜間あまり眠れなかったときや外出から戻られた際は、無理に活動の声掛けを行わず、休息の時間が取れるよう配慮している。                              |   |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬説明書を冊子にまとめ全員が回覧できるようにしている。各人の薬ケースにも飲み方を記載している。かかりつけ以外の病院を受診する際には、必ず薬説明書を持参し飲み合わせの際の事故防止に努めている。   |   |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 自宅での生活をご本人様やご家族様から聞きながら、日課を継続できるよう支援している。また、昔ながらの行事や食事の作り方を聞いて一緒に取り組むことで、楽しみながら生活していただけるよう支援している。 |   |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望に添えるよう外出や散歩の対応をしている。計画を立てて全員で外出する機会も設けており、その際は、ご家族様にも参加の呼びかけを行っており、お孫さんの多く参加している。               | 公園の散歩等を週に1~2回実施しており、敬老会やボラン祭には、家族や民生委員の参加を頂いている。                  |  |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 出かけた際の買い物はご本人様を選び購入している。主に金銭管理や出納帳は職員が管理しているが、ご本人様やご家族様が知りたいときにいつでも提示している。  |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 電話は子機を使用しスピーカー音量にすることで気軽にコミュニケーションが図れるように支援している。その他、年賀状をご家族様だけでなくご友人にも出しており、お付き合いを継続できるよう支援している。                  |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | ホーム内全てが広く、廊下ですれ違ってもお互いの空間が確保されている。日当たりがよく、ご利用者様それぞれに日向ぼっこをして過ごしている。また、地元の季節行事をご利用者様に聞きながら一緒に製作しており、活動風景の写真を飾っている。 | 食堂兼ホールはとても広く、採光が十分とれて明るい。外をゆっくり見るようにソファが置かれ、小上がりの和室でも休めるようになっている。利用者、職員の顔写真や、合同作品の展示、利用者のぬり絵等が貼られている。転用防止のため手すりのある廊下には、ものを置かないように支援している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングでは席が決まっており、自分の居場所が確保されている。その他にも、ソファや和室、交流ホール等それぞれの場所で思い思いに過ごしていただいている。  |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | ご自宅で使っていた布団や筆筒を持参していただき、居心地の良い環境で過ごせるよう工夫している。また、好きな本や手帳など日課にしていたことを持参していただき、継続できるよう支援している。                       | 持ち込みは自由であり、個々に大切な品や、本、写真等があり、整理整頓されている。それぞれが居心地良く過ごせるよう工夫しながら支援している。   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 廊下、トイレに手すり、浴室には手すりや滑り止めマットを設置している。食堂の椅子は各人にあった高さを選び、座布団を使用している方もいる。ベッドにもご本人様の状態に合わせて手すりを使用している。                   |  |                   |